



Word



Excel



Sway



OneNote



Publisher



PowerPoint



Teams



Visio



Access



Outlook



Exchange



Yammer



SharePoint



Forms



Skype



OneDrive



Stream



Family Safety



Lists



Planner



Power BI



Power Apps



Power Automate



Power Virtual Agents



To Do



Bookings

# Microsoft トピックス情報 (1月度版)

※2026年1月19日時点の情報となり、今後変更となる可能性がございます。ご了承ください。



# 【レター改定】Microsoft 製品 価格改定について

Microsoft365にセキュリティ・管理機能の提供拡大に伴い、

2026年7月1日から**Microsoft 365 製品の価格改定(値上)**が発表されました。

レターが改定されたため、再度ご案内致します。

## 値上対象プログラム

EA、ESA、SCE、~~EES~~、MPSA、Select Plus、Open Value、Open Value Subscription、~~Open Value Subscription Education Solutions~~、~~School Agreement~~、CSP、Web Direct(MOSP)

## 対象となるお客様

法人、非営利団体(上記のライセンスで契約、契約更新されるお客様)

## 適用開始日

2026年7月1日

## 新機能

## セキュリティ・管理機能提供の拡大

### Microsoft Enterprise スイート

「高度なエンドポイント管理ツール」「Defenderによる保護」「Windows Resiliency Initiative」「Security Copilotのインテリジェンス」など、セキュリティ強化・管理機能が追加

### Microsoft 365 Business スイート

メールストレージの拡張や「SafeLinks Lite」による追加のセキュリティ機能により、効率性と安全性を両立

一部のプログラムは値上げ対象外となりました。



2025年12月

日本マイクロソフト株式会社  
パートナー事業本部

2026年7月からのMicrosoft 365製品価格改定のご案内

拝啓 時下ますます清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
Microsoftでは、働き方の変革に対応しながら、ソリューションを継続的に進化・改善し、価値を提供し続けることで、ユーザーが常に生産性を維持し、安全性を確保し、次に備えられるよう取り組んでいます。2025年12月4日、Microsoftは、2026年にMicrosoft 365製品に追加されるセキュリティおよび管理機能の提供拡大を発表しました。これまでの継続的なバージョンと改善に伴い、2026年7月1日よりMicrosoft 365製品の法人向け価格を改定いたします。

敬具

記

1. 価格改定適用開始日：2026年7月1日
2. 対象となるライセンスプログラム：Enterprise Agreement、Enterprise Subscription Agreement、Microsoft Products and Services Agreement (MPSA)、Select Plus、Open Value、Open Value Subscription、Microsoft Cloud Solution Provider(CSP)、Web Direct (MOSP)
3. 対象となるお客様：法人、非営利団体（上記のライセンスで契約、契約更新されるお客様）
4. 対象製品：Office 365 E3 および E5、Enterprise Mobility and Security (EMS) E3 および E5、Windows E3 および E5、Microsoft 365 E3 および E5、Microsoft 365 Apps、Microsoft 365 Business Basic、Business Standard、Apps for Business、Microsoft 365 F1 および F3、Entra P1 および P2、デバイス単位のSKU：Windows Enterprise、Microsoft 365 Apps

#### 新機能について

Microsoft 365 Enterprise スイート：高度なエンドポイント管理ツール、Defenderによる保護、Windows Resiliency Initiative (WRI)、Security Copilotのインテリジェンスが追加されます。これにより、セキュリティ強化、迅速な復旧、そしてインテリジェントで将来に備えた運用が可能になります。

Microsoft 365 Business スイート：メールストレージの拡張と、SafeLinks Lite による追加保護が提供されます。これにより、複雑さを増やすことなく、効率性と安全性を両立できます。

詳細は、価格改定および新機能追加に関しては下記サイトをご確認ください。

[Microsoft 365 の進化：新機能の追加と価格改定 - Windows Blog for Japan](#)  
[Advancing Microsoft 365: New capabilities and pricing update](#)

ご注意：価格改定は、2026年7月1日以降の新規契約および更新契約に適用されます。既存のお客様で価格改定の対象となるMicrosoft 365法人向けサブスクリプションをご利用の場合、今回の更新時に新価格が適用されます。価格の詳細に関してはお取引先にご確認ください。

以上

※具体的な値上対象製品や価格については確認でき次第、ご案内します。



# Microsoft 製品 価格改定について 2/2

## Updated pricing

The following list price changes will go into effect on July 1, 2026.<sup>5</sup>

Microsoft 365 Suite	Current list price	List price as of July 1, 2026
Business Basic	\$6	\$7
Business Standard	\$12.50	\$14
Business Premium	\$22	\$22
Office 365 E1	\$10	\$10
Office 365 E3	\$23	\$26
Microsoft 365 E3	\$36	\$39
Microsoft 365 E5	\$57	\$60
Microsoft 365 F1	\$2.25	\$3
Microsoft 365 F3	\$8	\$10

ほかにMDEの対象をWin10/7などに拡大するなどの機能拡張も予定されている

New capabilities coming in 2026	Business Basic	Business Standard	Business Premium	Office 365 E1	Office 365 E3	Microsoft 365 E3	Microsoft 365 E5
	Lightweight web and mobile apps to kickstart your business.	Powerful web, mobile, and desktop apps to run your business.	Everything your business needs to be more productive and secure.	Lightweight web and mobile apps, and basic security.	Powerful productivity apps, basic security, and identity management capabilities.	Powerful Productivity apps with enhanced security and compliance capabilities.	Best-in-class AI-powered productivity apps with advanced security, compliance, analytics, and AI readiness capabilities.
Copilot Chat enhancements	●	●	●	●	●	●	●
Security, management, and analytics for Copilot Chat	●	●	●	●	●	●	●
URL checks in Outlook and Office apps (web and mobile)	●	●	●	●	●	●	●
+50 GB email storage	●	●	●	●	●	●	●
Microsoft Defender For Office 365 P1	●	●	●	●	●	●	●
Microsoft Intune Remote Help	●	●	●	●	●	●	●
Microsoft Intune Advanced Analytics	●	●	●	●	●	●	●
Microsoft Intune P2	●	●	●	●	●	●	●
Intune Endpoint Privilege Management	●	●	●	●	●	●	●
Intune Enterprise Application Management	●	●	●	●	●	●	●
Microsoft Cloud PKI	●	●	●	●	●	●	●
Microsoft Security Copilot	●	●	●	●	●	●	●

[Advancing Microsoft 365: New capabilities and pricing update | Microsoft 365 Blog](#)



# Office 365 E3 の3年モデル廃止について

Office 365 E3 の3年モデルにつきましては、ご提供できないことが判明いたしました。

3年モデルにて提供可能なプログラムは下記となっており、Office 365 E3 は、月契約・月払/年契約(月払/年払)のみとなります。

3年契約  
可能な製品

Microsoft 365 E3、E5 (No Teams)/ Microsoft Teams Enterprise  
Microsoft 365 E3、E5 (Teams付)  
Microsoft Defender Suite / Microsoft Purview Suite

お支払い方法

3年契約3年払い(一括) or 3年契約1年払い(分割払い)

購入条件

各プラン最小100ライセンス～ ※自動更新ではございません。 ※初月無償は対象外となります。

MS Learn

## クラウド ソリューション プロバイダー パートナーセンターにおける誤った3年間のオファーの販売終了

さまざまな製品の3年間のオファーが間違っって作成されました。

- 日付: 2025年12月16日
- ワークスペース: 全般
- 影響を受けた対象ユーザー: すべてのパートナー

次の製品に対して3年間のオファーが誤って作成されました。

🔄 テーブルを展開する

Product	プロダクト ID	SKU ID
Microsoft 365 E3	CFQ7TTCOLFLX	0001
Microsoft 365 E5	CFQ7TTCOLFLZ	0002
Office 365 E3	CFQ7TTCOLF8R	0001

Microsoft は、2026年1月の価格表のオファーを販売終了に向けた手順を実行していますが、価格表プレビューには表示されません。 暫定的にオファーの取引を控える。

[2025年12月のお知らせ - Partner Center announcements | Microsoft Learn](#)

※Microsoft 365 E3、E5についてはMSのSKUが変更となっておりますが、3年モデルの提供は継続となります。



# Microsoft 365 Copilot Business 提供開始



2025年12月8日より、Microsoft 365 Copilot Business が提供開始されました！

価格面でCopilot ライセンスの導入を迷われていたお客様へ、是非ご提案ください

新製品

M365 Copilot Business  
M365 Business Basic and M365 Copilot Business / No Teams 版もあり  
M365 Business Standard and M365 Copilot Business / No Teams 版もあり  
M365 Business Premium and M365 Copilot Business / No Teams 版もあり

購入条件

年契約年払/年契約月払

※月契約月払は用意がございません

※M365 CopilotとM365 Copilot Businessの機能差はございません

SMB層のお客様向け

	M365 Copilot Chat	M365 Copilot	M365 Copilot Business
価格	M365 ライセンスに含まれる	53,964円/年契約年払い	37,776円/年契約年払い
追加ライセンス	M365 ライセンスに含まれる	M365 Copilot アドオンが必要	M365 Copilot Businessアドオンが必要
ベースライセンス	Business Basicなど <small>公開情報: <a href="#">Microsoft 365 Copilot Chatの管理</a></small>	M365、O365など <small>公開情報: <a href="#">Microsoft 365 Copilotのライセンス オプション   Microsoft Learn</a></small>	M365 Business Basic/Standard/Premium Microsoft 365 Apps for business
ライセンス上限	なし	なし	最大300名
データ連携	業務データと連携しない (Web情報、アップロードファイル)	Microsoft 365 データと連携 (ファイルやメール、チャット、予定表などと連携して利用者に合わせた回答)	Microsoft 365 データと連携 (ファイルやメール、チャット、予定表などと連携して利用者に合わせた回答)
できること	質問に答える、文章を作る、アイデア出しなど	メール要約、会議議事録、文書作成支援、Excel での分析など	メール要約、会議議事録、文書作成支援、Excel での分析など



300名以下の  
利用であれば、  
低コストで  
利用可能！



キャンペーンもスタートしております！チラシはご用意でき次第、案内させていただきます

**!** **MFA(多要素認証)未設定** = 危険な状態のまま業務を続けている、ということ

いま、クラウド利用者のアカウントは日常的に狙われています！

パスワードだけでは防ぎきれず、**乗っ取りは「起きる前提」で備えるべきリスク**になりました。

Microsoftもこの状況を受け、2025年2月3日以降、Microsoft 365 管理センターへのアクセスに対して**MFAを必須化(段階展開)**しています。MFAは侵害リスクを大幅に下げられる効果的な対策です。

※ Microsoft 365/Azureをご利用の方は、下記 **多要素認証の設定確認** でMFAが有効になっているか必ず確認し、未設定の場合は直ちに登録してください。

### 不正アクセスでこんな被害が



#### メール乗っ取り

取引先・顧客になりすました連絡が行われ、誤送金や情報漏えいなどの二次被害につながる恐れがあります。社内外の信用低下に加え、事実確認・謝罪・再発防止などの対応工数が増加します。



#### クラウドデータへの不正アクセス

データの持ち出しだけでなく、改ざん・削除が発生する可能性があります。復旧やログ調査が長期化し、業務影響と追加コストにつながります。



#### 管理者アカウント侵害

権限・設定を握られ、ユーザー追加や権限変更、設定変更が行われる恐れがあります。

影響が部門を越えて全社に波及し、正常化までの負荷が大きくなります。



#### Azure の踏み台利用 (クラウド計算資源の悪用)

侵害IDを足がかりにVM/コンテナ等を大量作成され、スパムメール送信や暗号資産採掘などに悪用される恐れがあります。

その結果、高額請求が短期間で発生し、最悪、会社の業績へのインパクトになりえます。

### 「パスワードは突破される」前提で、必ずMFAの設定を！

#### 多要素認証の 設定確認

以下の手順で多要素認証が設定されているかご確認ください。※設定にあたり、別途費用は発生しません。

1 多要素認証の設定方法を  
確認してください。



Microsoft Authenticator で  
microsoft Authenticator を  
使用する365

2 設定できない場合は、  
多要素認証のリセットをお試しください。



多要素認証(MFA)のリセット手順  
- 2025年

3 リセット手順をお試しいただいた上で、設定・ログインができない場合のみ  
**第一電子株式会社** にご連絡をお願いいたします。

電話番号

※120-743-506

サポート時間

月曜日～金曜日 9:00～17:00  
(祝祭日及び、当社指定休業日を除く)



2025年11月1日より、Microsoft LSPプログラムにおける価格レベルによる割引が廃止されました。  
価格レベルの統一化により、一部のユーザーでLSPプログラムで受けていた価格メリットが薄れます。

エンドユーザーにとっての「最適解」が変わることにより  
今後、「LSPプログラムの継続」か、「CSPプログラムへ移行」か選択を迫られるユーザーの発生が予測される

ニーズに合ったプログラムを！

#### EA継続推奨ユーザー

ハイタッチ営業から特別条件が出ている場合  
特価条件、契約年数の調整（3年→5年など）

#### 教育機関

今回の制度変更は対象外のため

グループ会社を包括契約したい

日本拠点と海外拠点をマルチテナントで  
利用したい

導入後はマイクロソフト直接の有償サポート希望

ご契約製品、特別条件等によって最適解が異なりますので  
**まずはDDKへご相談ください**

#### CSPへの移行推奨ユーザー

ハイタッチ営業がない場合

ライセンスをすぐに利用したい

→すぐに開始、解約が可能

更新の手間を省きたい

→自動更新

購入後はDDKの無償サポートを活用したい

GDAP(代理管理権限)を付与いただくこと  
でDDKが代理で顧客環境へアクセスし、  
サポートを実施可能

3年一括購入をしたい ※一部製品に限定

マイクロソフトキャンペーンでお得に購入したい

# その生成AIサービス、本当に安全ですか？

## 生成AIのシャドー利用時のリスク

リスク1



アップロードしたファイルが外部に流出するリスク \*1



リスク2



プロンプトやファイルの内容がAIの学習に使われるリスク \*2



\*1：契約書レベル情報の保護に関する記載がない場合有  
\*2：企業で契約していないようなConsumer向け生成AIに多い



多くの無料・個人向け生成AIは各個人が既定の設定を変更し、学習に使わないようオプトアウトしない限りは

**AIモデル学習に使われます**

**78%**の従業員が自分のAIツールを職場に持ち込んでおり、**セキュリティとデータ保護は、AI導入の準備に不可欠**

## 組織が許可した安全な生成AIの利用

Microsoft 365 アカウントにサインインした Copilot Chat であれば、社外秘データも守り、業務効率化を図ることが出来る！

利用状況は  
後から監査可能



やり取りは  
全て暗号化



利用時は必ず  
認証が必要



Microsoft Products and Services Data Protection Addendum(DPA)のもとで保護

[Enterprise data protection in Microsoft 365 Copilot and Microsoft 365 Copilot Chat | Microsoft Learn](#)

EDP が適用されている証拠として、UIに緑色の保護シールドアイコンが表示。プロンプトと応答はサービス境界内で扱われ、訓練に使用されない。

[Microsoft 365 Copilot Chat Privacy and Protections | Microsoft Learn](#)





# Microsoft Ignite 2025: Azure 基盤の進化

クラウド運用の効率化、高性能なインフラ、AI時代に対応したデータ基盤 ——

Microsoft Ignite 2025で発表された次世代のクラウド体験を支える **Azure** の革新技術を4つ厳選してご紹介します。

## Azure Copilot

- Azure 上のクラウド運用を支援する AIエージェント群による新インターフェース
- 移行や最適化、トラブル対応などの専門エージェントがチャット操作でリソース管理を自動化し、管理者の作業負荷を削減します

詳細リンク



[Azure Copilot](#)

## Azure Boost

- Azure のホスト基盤に組み込まれた仮想化オフロード技術で、VMの入出力性能とセキュリティを大幅に向上
- 専用ハードウェアにより従来ホストOSが担っていた処理を肩代わりし、ディスクスループット20GB/秒・IOPS 100万超、ネットワーク帯域400Gbps など飛躍的な性能強化を実現。

詳細リンク



[Microsoft Learn](#)

## Azure Cobalt 200

- Microsoft が Azure 向けに設計した第2世代Armベース独自CPU
- 初代Cobalt 100の後継として公開され、前世代比最大50%高いパフォーマンスを発揮しつつ、消費電力あたり性能も向上
- Azure Boostなど最新技術と連携し、より少ないリソースで高い処理能力を提供可能にします

詳細リンク



[Azure Infrastructure Blog](#)

## Azure HorizonDB & DocumentDB

- 次世代の Azure データベースサービス
- **Azure HorizonDB**：現在プレビュー中の PostgreSQL 互換フルマネージドDBで、大規模スケールとAI統合に対応する企業向け高性能DB
- **Azure DocumentDB**：一般提供開始された MongoDB互換のNoSQLサービスで、マルチクラウド・ハイブリッド展開をサポートし、ベクトル検索などAI時代に適した機能を備えます

詳細リンク



[DocumentDB](#)



[HorizonDB](#)

※本スライドは、Microsoft Ignite 2025 にて発表された内容を便宜的に整理・抜粋したものであり、記載された機能・サービスの日本国内での提供開始や弊社での取り扱いを確約するものではありません。正式なアナウンスがあり次第、改めてご案内いたします。

### Microsoft 365 が標準で持つ 監査ログ管理機能

- ・Microsoft 365 上の監査ログの取得
- ・監査ログの保管と出力  
(プランにより180日~1年)

監査ログは英数字で表記され読み取りが難しく、  
ログ保管期間や出力数にも上限数があるなど、  
管理者による運用が難しい

+

### LANSCOPE セキュリティオーディター

- ・Microsoft 365 と連携し、監査ログを取得  
「いつ・誰が・何のアプリで・何をしたか」一目で分かるようレポートニング
- ・取得したログは25ヶ月間保管でき、いつでも一括出力が可能
- ・管理画面上での詳細なログ検索機能
- ・「ゲストユーザーの招待状況」「ファイルの共有状況」など、  
セキュリティリスクのある操作をアラート設定と通知が可能

このような  
ユーザー様  
必見！

M365 を導入しており、**セキュリティに不安**を感じている

**ゲストユーザー招待やファイル共有**機能を活用している

Microsoft 365 の**監査ログを有効活用**したい

LANSCOPE セキュリティオーディター	
補足	初月無償 詳細ライセンス形態は <a href="#">こちら</a> 新規購入は最低5ライセンス、最低利用期間は6か月(申込月を除く)
標準価格 (税抜)	初期費用:30,000円 年額/3,600円
	<a href="#">60日間無料トライアル受付中</a>